

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	点字図書館運営費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	02	細目	004	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 50 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	身体障害者福祉法に基づき、視覚障がい者への情報提供を行うとともにボランティアの育成を行う。						
対象	1. 個人	市内在住、在勤、在学の視覚障がい者				約 770 人	
根拠法令等	法律等	身体障害者福祉法					
事業実施内容	1. 視覚障がい者への図書製作・貸出 (1) 図書製作数 点字 10点 デイジー 57点 (2) 図書利用数 点字 592点 テープ 188点 デイジー 21,039点 2. ボランティアの育成事業 (1) ボランティア基本講習会修了者 25人 (2) 点訳講習会その他各種研修会等受講者 129人 3. 文化レクリエーション等活動援助 (1) 教養講座参加者数(ボランティア含む) 延べ 92人 (2) 視覚障がい者IT講習会・パソコン教室参加者 延べ33人 4. 点字指導 視覚障がい者4人						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委託先 : 藤沢市点訳奉仕会, オフィスビジュアル21 ) ( 委託等内容 : 視覚障がい者指導事業, 点字図書校正業務委託ほか ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 負担金 : 日本盲人社会福祉施設協議会ほか5団体 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 10,416 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報酬	4,454 千円	点字指導員報酬
		需用費	1,660 千円	点字・録音図書製作用図書購入, 機関誌点字版印刷
		使用料及び賃借料	1,632 千円	点字プリンター賃借
		委託料	1,390 千円	視覚障がい者指導事業, 点字図書校正業務委託
その他	1,280 千円	報償費, 旅費, 役務費, 負担金補助及び交付金		
財源内訳	H30年度 支出済額 10,416 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	10,416 千円	
		県支出金		
その他 ( )				
一般財源				

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	4.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	2.00
合計	6.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	49,428	52,605	47,938	48,530
	(1)現金を伴う支出 (千円)	39,217	49,331	48,943	48,961
	事業費(支出済額-②報酬合計)	6,122	6,295	5,823	5,962
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	33,095	43,036	43,120	42,999
	職員数(常勤 非常勤)	3.00 3.00	4.00 3.00	4.00 3.00	4.00 2.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	27,120	36,404	36,876	36,668
	②報酬合計(非常勤)	4,453	4,454	4,453	4,454
	③退職金相当額	1,522	2,178	1,791	1,877
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	10,211	3,274	-1,005	-431
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	10,211	3,274	-1,005	-431
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	117.51 420,619	123.75 425,105	112.14 427,501	113.04 429,317	

成果実績	指標名	点字図書館登録者数	目標	250	単位	260	単位	270	単位	235	単位
			実績	251	単位	272	単位	230	単位	236	単位
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			視覚障がい者が図書・インターネット等で情報を入手できる環境を提供することで、視覚障がい者の自立と社会参加並びに生活・文化の向上に寄与した。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			196,924.30		193,400.74		208,426.09		205,635.59		

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	点字図書館の存在を知らない視覚障がい者に, 点字図書館の存在を知ってもらい, 今後の利用につなげる。
(2) (1)解決のための今後の取組	広報ふじさわや図書館ホームページ等で点字図書館事業の周知を図る。また4市民図書館と連携した事業を実施するなど図書館を通じた周知活動を実施し, 家族や友人を介して点字図書館の存在を知ってもらう。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	点字図書館利用者に対しては, 点字・録音図書の製作や貸出など読書環境の充実を図ることができている。また点字指導やIT講習会など視覚障がい者の自立や社会参加の機会を創出し, 生活・文化の向上に寄与することができた。ボランティアについては, 基本講習会・各種専門講習会を開催し養成を行った。ボランティアの協力により点字図書館事業の円滑な運営が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	<b>現状維持</b>
	点字・録音図書の製作や貸出については, 継続して実施する。点字指導やIT講習会等事業については, 今後もニーズを把握しながら適切に事業を進める。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
53	点字図書及び録音図書の製作, 収集及び整理に関すること	無	無	1	1
54	点字図書及び録音図書の貸出しサービスに関すること	無	無	1	
55	点字ボランティア及び録音ボランティアの育成指導並びに各奉仕会との連絡調整に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	総合市民図書館運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	4市民図書館及び11市民図書室の維持管理・運営を行う。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃・警備・設備機器の保守等により快適な利用環境の維持に努めた。</li> <li>・4図書館及び11市民図書室の適切な利用環境を整備することにより, 多様化する利用形態に答え, 利用者サービスの拡大・向上に努めた。</li> </ul>						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委託先 : 藤沢建物環境管理協同組合, サンエー ) ( 委託等内容 : 清掃・警備・設備機器の保守事業, 図書の搬送 ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 負担金 : 日本図書館協会ほか3団体 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報酬	166,520 千円	図書館協議会委員報酬, 図書業務員報酬
		委託料	78,371 千円	施設総合維持管理, 図書整理装備, 資料搬送等業務委託
		301,818 千円 需用費	20,550 千円	物品修繕, 施設修繕費, 電気代, 上下水道代
		賃金	19,597 千円	短時雇用職員賃金
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		301,818 千円 使用料・手数料	740 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (繰入金・諸収入)	3,135 千円			
一般財源	297,943 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	10.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	61.63
合計	72.13

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	472,213	436,116	446,842	435,123			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	406,480	404,742	417,658	402,998			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	140,174	140,194	149,477	135,495			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	266,306	264,548	268,181	267,503			
	職員数(常勤 非常勤)	11.00   138.00	10.50   138.00	11.00   139.00	10.50   61.63			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	96,044	93,950	98,259	96,254			
	②報酬合計(非常勤)	165,190	165,153	165,446	166,323			
	③退職金相当額	5,072	5,445	4,476	4,926			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	65,733	31,374	29,184	32,125			
	①減価償却費	31,697	31,697	31,697	31,697			
	②退職給与引当金繰入額	34,036	-323	-2,513	428			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	1122.66	420,619	1025.90	425,105	1045.24	427,501	1013.52	429,317

成果実績	指標名	-	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績	-	実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		1. 図書館利用者へ快適な利用環境と、映画会やおはなし会、読書週間などの各種事業への参加機会を提供している。2. 図書館利用により、市民に充実した時間、知識情報、視野の拡大、豊かな生活等の満足感を与えている。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）  
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額  
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	4 市民図書館及び1 1 市民図書室の質の高い図書館サービスの向上。 老朽化した総合市民図書館の緊急性の高い施設・設備修繕等の増加。
(2) (1)解決のための今後の取組	限られた予算の中で、緊急性・優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し、安全・快適な利用環境の整備に努める。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	総合市民図書館の円滑な運営を行うために施設の維持管理に努め、安全で快適な利用環境と質の高い図書館サービスを提供した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き緊急性・優先度の高い施設・設備の修繕等を実施することにより、安全・快適な利用環境を整備し、図書館サービスの拡大・向上に努める。 令和元年度から、視聴覚資料データ作成業務委託料を障がい者・高齢者宅配サービス事業費から統合する。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1
4	施設の運営管理に関すること	無	無	1	1
7	備品・消耗品の購入及び在庫管理に関すること	無	無	1	2
8	図書業務員・臨時職員の任用及び業務管理に関すること	無	無	1	
10	施設の使用許可及び貸出し、管理に関すること	無	無	1	
11	施設使用料等公金の徴収及び管理に関すること	無	無	2	3
13	行政財産目的外使用料収納事務に関すること	無	無	1	1
48	図書館協議会委員の任用に関すること	無	無		3
49	図書館協議会の開催に関すること	無	無	1	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。  
 ※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	南市民図書館運営管理費								担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館					
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	02	課等の長	市川 雅之	電話	6758

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 62 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	南市民図書館の維持管理・運営を行う。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例			
事業実施内容	南市民図書館の適切な利用環境を整備することにより, 多様化する利用形態に応え, 図書館サービスの拡大・向上に努めた。 南市民図書館の暫定移設を行うための事務を行った。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 負担金 : 奥田公園駐車場負担金 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 9,176 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	3,938 千円	消耗品費, 修繕費, 光熱水費等
		役務費	388 千円	電話料, 樹木剪定作業等
		使用料及び賃借料	1,065 千円	官報情報検索サービス料, 電子複写機等賃借料等
財源内訳	H30年度 支出済額 9,176 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ( 諸収入 )	995 千円			
一般財源	8,181 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	2.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	55,442	38,240	47,846	22,962			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	40,308	36,785	40,306	24,387			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	11,666	11,614	11,306	9,176			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	28,642	25,171	29,000	15,211			
	職員数(常勤 非常勤)	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	2.00 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	27,120	24,082	27,657	14,742			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,522	1,089	1,343	469			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	15,134	1,455	7,540	-1,425			
	①減価償却費	4,923	4,923	4,923	4,923			
	②退職給与引当金繰入額	10,211	-3,468	2,617	-6,348			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	131.81	420,619	89.95	425,105	111.92	427,501	53.48	429,317



成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績	実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			-	単位	-	単位	-	単位		
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			1. 図書館利用者へ快適な利用環境と、映画会やおはなし会、読書週間などの各種事業への参加機会を提供している。2. 図書館利用により、市民に充実した時間、知識情報、視野の拡大、豊かな生活等の満足感を与えている。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）  
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額  
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	図書館サービスの拡大・向上。 建物の老朽化及びバリアフリー環境の整備。
(2) (1)解決のための今後の取組	南市民図書館について、バリアフリー環境の整った駅前施設へ暫定移設を行い、限られた予算の中で、安全・快適な利用環境の整備に努め、多様化する利用形態に応え、図書館サービスの拡大・向上に努める。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	南市民図書館の円滑な運営を行うために施設の維持管理に努め、安全で快適な利用環境と質の高い図書館サービスを提供した。 暫定移設に係る事務を行った。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	南市民図書館の暫定移設を行い、安全・快適な利用環境を整備に努め、多様化する利用形態に応え、図書館サービスの拡大・向上に努める。 暫定移設が円滑に行われるよう事務を行う。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1
4	施設の運営管理に関すること	無	無	1	1
7	備品・消耗品の購入及び在庫管理に関すること	無	無	1	2
10	施設の使用許可及び貸出し、管理に関すること	無	無	1	
11	施設使用料等公金の徴収及び管理に関すること	無	無	2	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。  
 ※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	辻堂市民図書館運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	03	課等の長	市川 雅之	電話	6755

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 5 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	辻堂市民図書館の維持管理・運営を行う。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例			
事業実施内容	辻堂市民図書館の適切な利用環境を整備することにより, 多様化する利用形態に応え, 利用者サービスの拡大・向上に努めた。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委託先 : パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社 ) ( 委託等内容 : 視聴覚機器の保守点検 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 10,724 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
		需用費	9,429 千円	施設修繕, 電気代, 上下水道代											
		使用料及び賃借料	656 千円	コピー機, 視聴覚機器, ファクシミリ賃借料											
		委託料	486 千円	視聴覚機器設備保守点検											
財源内訳	H30年度 支出済額 10,724 千円	事業費節別財源内訳			<b>3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)</b> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.50</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.50	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.50
			平成30年度												
		正規職員等	0.50												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.50												
費目	支出済額 (千円)														
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他 ( )															
一般財源	10,724 千円														

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	30,343	30,040	32,801	31,674			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	13,477	13,862	15,730	15,543			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	11,568	11,933	10,896	10,724			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,909	1,929	4,834	4,819			
	職員数(常勤 非常勤)	0.20 0.00	0.20 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	1,808	1,820	4,610	4,584			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	101	109	224	235			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	16,866	16,178	17,071	16,131			
	①減価償却費	16,185	16,185	16,185	16,185			
	②退職給与引当金繰入額	681	-7	886	-54			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	72.14	420,619	70.66	425,105	76.73	427,501	73.78	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
			実績	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			1. 図書館利用者へ快適な利用環境と、映画会やおはなし会、読書週間などの各種事業への参加機会を提供している。2. 図書館利用により、市民に充実した時間、知識情報、視野の拡大、豊かな生活等の満足感を与えている。										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)					-				-				-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	運營業務を委託しているNPO法人と連携し、施設・設備の維持管理に努めているが、職員が常駐していないため、日常の管理に難しさがある。
(2) (1)解決のための今後の取組	引き続き、NPO法人による辻堂市民図書館の運営を検証する。 総合市民図書館の支援機能の強化を図り、緊急性・優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し、安全・快適な利用環境の整備に努める。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	辻堂市民図書館の円滑な運営を行うために施設の維持管理に努め、安全で快適な利用環境を市民に提供した。維持管理についてNPO法人との連絡を密にするよう努めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	辻堂市民図書館の適切な維持・管理のため、緊急性・優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し、安全・快適な利用環境の整備に努める。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1
5	図書館サービス業務委託及び執行管理に関すること	無	無	3	1
7	備品・消耗品の購入及び在庫管理に関すること	無	無	1	2

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------



# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	湘南大庭市民図書館運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	04	課等の長	市川 雅之	電話	6755

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 12 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	湘南大庭市民図書館の維持管理・運営を行う。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例			
事業実施内容	湘南大庭市民図書館の適切な利用環境を整備することにより, 多様化する利用形態に応え, 利用者サービスの拡大・向上に努めた。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委託先 : テクノ矢崎 (株) ) ( 委託等内容 : 冷温水発生機保守点検業務委託 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 8,872 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	7,433 千円	施設修繕, 電気代, 上下水道代等
		使用料及び賃借料	840 千円	コピー機・視聴覚機器・BDSシステム賃借料
		委託料	409 千円	冷温水発生機保守点検
財源内訳	H30年度 支出済額 8,872 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ( )				
一般財源	8,872 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	31,667	30,521	32,321	30,364			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	14,862	14,747	15,988	14,634			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	9,366	9,774	9,637	8,872			
	償還金利子	2,632	2,080	1,517	943			
	人件費合計(①+②+③)	2,864	2,893	4,834	4,819			
	職員数(常勤 非常勤)	0.30 0.00	0.30 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	2,712	2,730	4,610	4,584			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	152	163	224	235			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	16,805	15,774	16,333	15,730			
	①減価償却費	15,784	15,784	15,784	15,784			
	②退職給与引当金繰入額	1,021	-10	549	-54			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	75.29	420,619	71.80	425,105	75.60	427,501	70.73	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	実績		実績	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		1. 図書館利用者へ快適な利用環境と、映画会やおはなし会、読書週間などの各種事業への参加機会を提供している。2. 図書館利用により、市民に充実した時間、知識情報、視野の拡大、豊かな生活等の満足感を与えている。											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）  
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額  
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	運營業務を委託しているNPO法人と連携し、施設・設備の維持管理に努めているが、職員が常駐していないため、日常の管理に難しさがある。
(2) (1)解決のための今後の取組	引き続き、NPO法人による湘南大庭市民図書館の運営を検証する。総合市民図書館の支援機能の強化を図り、緊急性・優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し、安全・快適な利用環境の整備に努める。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	湘南大庭市民図書館の円滑な運営を行うために施設の維持管理に努め、安全で快適な利用環境を市民に提供した。維持管理についてNPO法人との連絡を密にするよう努めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	湘南大庭市民図書館の適切な維持・管理のため、緊急性・優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し、安全・快適な利用環境の整備に努める。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1
5	図書館サービス業務委託及び執行管理に関すること	無	無	3	1
7	備品・消耗品の購入及び在庫管理に関すること	無	無	1	2

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。  
 ※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	図書館情報ネットワーク事業費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	05	課等の長	市川 雅之	電話	6755

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市図書館情報ネットワークシステムの維持管理及びインターネット予約等による利用者サービス向上と県内公立図書館、市内4大学図書館との協力体制を推進する。						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館サービスを遂行するための図書館コンピュータシステムの保守管理及び貸借を行った。</li> <li>図書館ホームページによる最新の情報提供と利便性の向上に努めた。</li> <li>市民図書室にパソコンを設置して、図書室からの4市民図書館の資料検索を可能とし、レファレンスに対応した。</li> <li>総合市民図書館の新聞・雑誌等のデータベース記事検索の環境を整備した。</li> <li>県内公立図書館、市内4大学(慶応義塾大学、日本大学、湘南工科大学、多摩大学)の図書館との協力体制を維持した。</li> </ul>						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委託先 : NECフィールドディング株式会社 ) ( 委託内容 : 11市民図書館等ネットワーク機器設定変更作業業務委託 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		需用費	1,471 千円	プリンターカートリッジ等消耗品費
		委託料	2,473 千円	図書館VRF追加作業業務委託
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
財源内訳	27,018 千円	国庫支出金		
		県支出金		
		その他(繰入金)	765 千円	
		一般財源	26,253 千円	

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	52,187	48,222	36,768	36,546			
	(1)現金を伴う支出(千円)	48,783	48,255	37,019	36,654			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	39,236	38,610	27,352	27,018			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,547	9,645	9,667	9,636			
	職員数(常勤 非常勤)	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	9,040	9,101	9,219	9,167			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	507	544	448	469			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	3,404	-33	-251	-108			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	3,404	-33	-251	-108			
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	124.07	420,619	113.44	425,105	86.01	427,501	85.13	429,317

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		図書館資料の検索や予約など図書館情報システム上のサービスをインターネットを通じて利用することにより、いつでも自宅や職場等から検索・予約ができ、利用者の利便が図られている。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)											

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	図書館情報システムにおいてさらなるセキュリティ対策を図り，利用者に対する図書館サービスの向上を実現するため，現在の図書館情報システムを見直し，図書館情報システムのリプレースを行ない新システムにおける不具合等の更なる検証を行う。
(2) (1)解決のための今後の取組	新図書館情報システムのリプレースを行い，利用者が安心・安全に利用できるサービスを提供するとともに，多様化する利用形態に応え，令和元年10月に11市民図書室について情報検索用コンピュータ機器の更新を行い，11市民図書室のオンライン化の検討を引き続き行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	図書館情報ネットワーク・コンピュータシステムにより，快適な利用環境と最新の情報を提供することで，市民サービスの向上が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	図書館情報ネットワークシステムの適切な運営と維持管理により，多様化する利用形態に応え，令和元年10月に11市民図書室について情報検索用コンピュータ機器の更新を行い，11市民図書室のオンライン化の検討を引き続き行い情報利用者サービスの拡大・向上に努める。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
9	図書館コンピュータシステムの維持管理に関すること	無	無	3	3
36	大学図書館との相互利用に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	総合市民図書館市民運営費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	06	課等の長	市川 雅之	電話	6755

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の運営業務をNPO法人に委託する。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例			
事業実施内容	これまで図書館業務に携わってきた図書業務員を中心として組織されたNPO法人に, 図書館運営業務を委託することにより, 辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の図書館サービス業務を実施した。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委託先 : NPO法人 市民の図書館・ふじさわ ) ( 委託等内容 : 図書館運営業務 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳													
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
	139,082 千円	委託料	139,082 千円	図書館運営業務委託料											
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳			<b>3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)</b> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1.00</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	1.00	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	1.00
		平成30年度													
	正規職員等	1.00													
	再任用短時・任期付短時職員	0.00													
	非常勤職員	0.00													
	合計	1.00													
	支出済額	費目	支出済額 (千円)												
139,082 千円	分担金・負担金														
	使用料・手数料														
	国庫支出金														
	県支出金														
	その他 ( )														
	一般財源	139,082 千円													

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	149,517	147,028	146,297	148,610			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	146,113	147,061	146,548	148,718			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	136,566	137,416	136,881	139,082			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,547	9,645	9,667	9,636			
	職員数(常勤 非常勤)	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	9,040	9,101	9,219	9,167			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	507	544	448	469			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,404	-33	-251	-108			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	3,404	-33	-251	-108			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	355.47	420,619	345.86	425,105	342.21	427,501	346.15	429,317



成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。									
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-		-		-		-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	NPO法人に運営業務を委託している辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の質の高い図書館サービスの維持
(2) (1)解決のための今後の取組	NPO法人による辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の運営について引き続き検証すると共に、施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を行う。総合市民図書館の支援機能を引き続き検証する。NPO法人による図書館運営の今後の課題を整理する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	辻堂市民図書館と湘南大庭市民図書館の運営状況を検証した結果、適正に運営されている。	
今後の方針	事業の方向性	<b>現状維持</b>
	図書館サービス業務の一部をNPO法人に委託することにより、NPO法人の特色を生かした地域に密着した事業展開と、利用者に充実した質の高い図書館サービスを提供し、効率的・効果的な図書館運営と図書館サービスの充実を図る。 また、南市民図書館について、外部資源を活用した業務運営の検討を行い、その検討結果による運営方法を確定する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
5	図書館サービス業務委託及び執行管理に関すること	無	無	3	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	藤沢市民図書室整備事業費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	07	課等の長	市川 雅之	電話	6755

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 30 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	再整備する藤沢公民館・労働会館等複合施設内に、藤沢市民図書室内の快適な利用環境を整備し、利用者サービスの向上を図る。						
対象	1. 個人	市民			429,317	人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	Fプレイス（藤沢公民館・労働会館等複合施設）へ移転する藤沢市民図書室の利用環境を整えるため、備品等を整備する。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理	(	:	)			
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	(	:	)			
	<input type="checkbox"/> その他	(	:	)			

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 1,582 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	1,179 千円	藤沢市民図書室開室準備用消耗品
		備品購入費	403 千円	藤沢市民図書室開室準備用備品
財源内訳	H30年度 支出済額 1,582 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	1,582 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A				7,907
	(1)現金を伴う支出 (千円)				6,401
	事業費(支出済額-②報酬合計)				1,582
	償還金利子				0
	人件費合計(①+②+③)				4,819
	職員数(常勤 非常勤)				0.50   0.00
	参考:正規職員平均給与				9,167
	①職員給与合計(常勤)				4,584
	②報酬合計(非常勤)				0
	③退職金相当額				235
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				1,506
	①減価償却費				0
	②退職給与引当金繰入額				1,506
	③不納欠損額				0
	④その他( )				0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)				18.42   429,317	

成果実績	指標名	目標					-	単位
		実績					-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		快適な読書環境を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。					
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	新しい施設へ円滑に移転したことによって，市民に快適な読書環境を提供することができた。今後とも，引き続き読書環境を維持していく必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	総合市民図書館運営管理費の予算内で消耗品等を整備し，快適な読書環境を提供する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	Fプレイス（藤沢公民館・労働会館等複合施設）内に移転する藤沢市民図書室の備品等を整備し，快適な読書環境を提供することができた。	
今後の方針	事業の方向性	<b>休止・廃止・完了</b>
	本事業は平成30年度で完了とするが，今後は総合市民図書館運営管理費の予算内で消耗品等を整備し，快適な読書環境を提供する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1
7	備品・消耗品の購入及び在庫管理に関すること	無	無	1	2

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	南市民図書館等移設事業費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	08	課等の長	市川 雅之	電話	6758

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 30 年度	終了(予定)年度	令和 元 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	南市民図書館及び市民ギャラリーについて暫定移設を行うために、移設先の工事を行う。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	1. 南市民図書館及び市民ギャラリーの暫定移設工事の設計に係る負担金。 2. 南市民図書館及び市民ギャラリーの暫定移設工事に係る負担金。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : )						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 負担金 : 南市民図書館等暫定移設工事に伴う負担金 )						
	<input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 7,344 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		負担金	7,344 千円	南市民図書館等暫定移設工事の設計負担金
財源内訳	H30年度 支出済額 7,344 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他		
一般財源	7,344 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A				19,992
	(1)現金を伴う支出 (千円)				16,980
	事業費(支出済額-②報酬合計)				7,344
	償還金利子				0
	人件費合計(①+②+③)				9,636
	職員数(常勤 非常勤)				1.00   0.00
	参考:正規職員平均給与				9,167
	①職員給与合計(常勤)				9,167
	②報酬合計(非常勤)				0
	③退職金相当額				469
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				3,012
	①減価償却費				0
	②退職給与引当金繰入額				3,012
	③不納欠損額				0
	④その他( )				0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)				46.57   429,317	

成果実績	指標名	-	目標				-	単位
	実績						-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	南市民図書館及び市民ギャラリーについて暫定移設を行うため、移設先についての設計が適切に行われ、工事が順調に進んでいる。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	令和元年7月の開館に合わせ，3月から工事を開始する必要がある，平成30年度2月補正予算で工事負担金を計上したが，工事竣工が6月であるため，工事負担金249,480千円は，令和元年度へ繰越明許となった。
(2) (1)解決のための今後の取組	3月から工事が開始され，6月に竣工。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	南市民図書館及び市民ギャラリーの暫定移設により，バリアフリー環境の整った施設で利用者へサービスを提供することができる。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	設計は平成31年2月28日に完了。工事は令和元年6月14日に完了。7月のオープンに向けて，適切な進行管理と予算執行を行う。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------



# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	湘南大庭市民図書館整備事業費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	09	課等の長	市川 雅之	電話	6755

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 30 年度	終了(予定)年度	令和 元 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南大庭市民図書館の安全で快適な施設利用及び環境を整え、利用者の利便性を図るために開架フロア照明改修工事を行う。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	湘南大庭市民図書館の開架フロア照明改修工事を行う。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		0 千円		千円【翌年度へ繰越明許設定】
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		0 千円		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ( )				
一般財源				

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A				2,529
	(1)現金を伴う支出 (千円)				1,927
	事業費(支出済額-②報酬合計)				0
	償還金利子				0
	人件費合計(①+②+③)				1,927
	職員数(常勤 非常勤)				0.20   0.00
	参考:正規職員平均給与				9,167
	①職員給与合計(常勤)				1,833
	②報酬合計(非常勤)				0
	③退職金相当額				94
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				602
	①減価償却費				0
	②退職給与引当金繰入額				602
	③不納欠損額				0
	④その他( )				0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)				5.89   429,317	

成果実績	指標名	-	目標				-	単位
			実績				-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		安全で快適な施設利用及び環境を整え、利用者の利便性を図ることができる。					
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	平成30年度2月補正予算で湘南大庭市民図書館の安全で快適な施設利用及び環境を整え，利用者の利便性を図るために開架フロア照明改修工事費について計上したが，契約及び工事に期間を要するため，令和元年度へ繰越明許となった。
(2) (1)解決のための今後の取組	令和元年9月から工事が開始され，同月内に終了する予定。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	湘南大庭市民図書館の開架フロア照明改修工事の実施により，利用者に快適な読書環境を提供できる。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	開架フロア照明改修工事を実施する。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	3	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	総合市民図書館資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	総合市民図書館の図書館活動に必要な図書資料及び視聴覚資料を購入する。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を, 年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を, 年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
		費目	支出済額 (千円)		主な事業内容
	21,366 千円	需用費	20,187 千円		図書・視聴覚資料等の資料購入
		備品購入費	1,179 千円		新聞のマイクロフィルム購入
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		平成30年度	
		費目	支出済額 (千円)	正規職員等	
	21,366 千円	分担金・負担金		2.50	
		使用料・手数料		再任用短時・任期付短時職員	
		国庫支出金		0.00	
		県支出金		非常勤職員	
		その他 (繰入金)	3,706 千円	合計	
	一般財源	17,660 千円	2.50		

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	58,747	50,646	47,157	45,188			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	50,238	50,727	47,785	45,457			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	23,548	23,673	23,618	21,366			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	26,690	27,054	24,167	24,091			
	職員数(常勤 非常勤)	3.00 0.00	3.00 0.00	2.50 0.00	2.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	25,422	25,693	23,048	22,918			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,268	1,361	1,119	1,173			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	8,509	-81	-628	-269			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	8,509	-81	-628	-269			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	139.67	420,619	119.14	425,105	110.31	427,501	105.26	429,317

成果実績	指標名	総合市民図書館資料購入数	目標	12,000	単位	12,100	単位	12,200	単位	11,200	単位
			実績	12,108	単位	12,236	単位	12,196	単位	11,206	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			4,851.92	4,139.10	3,866.60	4,032.48					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えるとともに、様々な資料があるなかで、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づく資料の収集・保存の精査に徹するとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。 令和元年度から、視聴覚資料の購入費を障がい者・高齢者宅配サービス事業費から統合し、図書館資料全体として有効活用を図る方向で検討する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
23	図書館資料の収集に関すること(図書)	無	無	3	
24	図書館資料の収集に関すること(視聴覚)	無	無	3	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	南市民図書館資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	02	課等の長	市川 雅之	電話	6758

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 62 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	南市民図書館の図書館活動に必要な図書資料及び視聴覚資料を購入する。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を, 年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を, 年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	8,826 千円	需用費	8,826 千円	図書・視聴覚資料等の購入
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
	8,826 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (繰入金)	1,631 千円	
	一般財源	7,195 千円		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	22,645	19,435	19,305	18,354			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	19,241	19,468	19,556	18,462			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	9,694	9,823	9,889	8,826			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,547	9,645	9,667	9,636			
	職員数(常勤 非常勤)	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	9,040	9,101	9,219	9,167			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	507	544	448	469			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,404	-33	-251	-108			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	3,404	-33	-251	-108			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	53.84	420,619	45.72	425,105	45.16	427,501	42.75	429,317



成果実績	指標名 南市民図書館資料購入数	目標	6,500	単位 点	6,500	単位 点	6,400	単位 点	5,800	単位 点
		実績	6,562	単位 点	6,467	単位 点	6,371	単位 点	5,844	単位 点
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		3,450.93		3,005.26		3,030.14		3,140.66		

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えるとともに、様々な資料があるなかで、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づく資料の収集・保存の精査に徹するとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
23	図書館資料の収集に関すること(図書)	無	無	3	
24	図書館資料の収集に関すること(視聴覚)	無	無	3	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	辻堂市民図書館資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	03	課等の長	市川 雅之	電話	6755

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 5 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	辻堂市民図書館の図書館活動に必要な図書資料及び視聴覚資料を購入する。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等	法律等	図書館法			
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を, 年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を, 年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳													
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
	9,719 千円	需用費	9,719 千円	図書・視聴覚資料等の資料購入											
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳			<b>3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)</b> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.10</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.10	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.10
		平成30年度													
	正規職員等	0.10													
	再任用短時・任期付短時職員	0.00													
	非常勤職員	0.00													
	合計	0.10													
	支出済額	費目	支出済額 (千円)												
9,719 千円	分担金・負担金														
	使用料・手数料														
	国庫支出金														
	県支出金														
	その他 (繰入金)	1,615 千円													
	一般財源	8,104 千円													

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	11,594	11,235	11,842	10,672
	(1)現金を伴う支出 (千円)	11,254	11,238	11,867	10,683
	事業費(支出済額-②報酬合計)	10,299	10,274	10,900	9,719
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	955	964	967	964
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	904	910	922	917
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	51	54	45	47
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	340	-3	-25	-11
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	-25	-11
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	27.56	26.43	27.70	24.86	

成果実績	指標名	辻堂市民図書館資料購入数	目標	6,500	単位	点	6,500	単位	点	6,400	単位	点	5,950	単位	点
			実績	6,526	単位	点	6,415	単位	点	6,642	単位	点	5,998	単位	点
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。												
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			1,776.59			1,751.36			1,782.90			1,779.26			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えるとともに、様々な資料があるなかで、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づく資料の収集・保存の精査に徹するとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
23	図書館資料の収集に関すること(図書)	無	無	3	
24	図書館資料の収集に関すること(視聴覚)	無	無	3	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	湘南大庭市民図書館資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	04	課等の長	市川 雅之	電話	6755

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 12 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	湘南大庭市民図書館の図書館活動に必要な図書資料及び視聴覚資料を購入する。				
対象	1. 個人	個人			429,317 人
根拠法令等	法律等	図書館法			
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を, 年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を, 年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳													
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
	9,689 千円	需用費	9,689 千円	図書・視聴覚資料等の資料購入											
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳			<b>3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)</b> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.10</td> </tr> </table>		平成30年度	正規職員等	0.10	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.10
		平成30年度													
	正規職員等	0.10													
	再任用短時・任期付短時職員	0.00													
	非常勤職員	0.00													
	合計	0.10													
支出済額	費目	支出済額 (千円)													
9,689 千円	分担金・負担金														
	使用料・手数料														
	国庫支出金														
	県支出金														
	その他 (繰入金)	1,615 千円													
	一般財源	8,074 千円													

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	23,249	19,883	8,751	10,642			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	19,845	19,916	11,810	10,653			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	10,298	10,271	10,843	9,689			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,547	9,645	967	964			
	職員数(常勤 非常勤)	1.00 0.00	1.00 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	9,040	9,101	922	917			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	507	544	45	47			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,404	-33	-3,059	-11			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	3,404	-33	-3,059	-11			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	55.27	420,619	46.77	425,105	20.47	427,501	24.79	429,317

成果実績	指標名	湘南大庭市民図書館資料購入数	目標	6,400	単位	点	6,400	単位	点	6,500	単位	点	5,950	単位	点
			実績	6,486	単位	点	6,509	単位	点	6,570	単位	点	5,976	単位	点
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。												
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			3,584.49			3,054.69			1,331.96			1,780.79			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えるとともに、様々な資料があるなかで、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づく資料の収集・保存の精査に徹するとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
23	図書館資料の収集に関すること(図書)	無	無	3	
24	図書館資料の収集に関すること(視聴覚)	無	無	3	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	市民図書室資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	05	課等の長	市川 雅之	電話	6755

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 55 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	11市民図書室の図書館活動に必要な図書資料等を購入する。						
対象	1. 個人	市民				429,317	人
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を, 年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を, 年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	10,573	需用費	10,573 千円	図書等の資料購入
	千円			
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
	10,573	分担金・負担金		
	千円	使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
	その他 ( 繰入金 )	2,873 千円		
	一般財源	7,700 千円		

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	23,444	20,247	21,115	20,101			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	20,040	20,280	21,366	20,209			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	10,493	10,635	11,699	10,573			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,547	9,645	9,667	9,636			
	職員数(常勤 非常勤)	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	9,040	9,101	9,219	9,167			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	507	544	448	469			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,404	-33	-251	-108			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	3,404	-33	-251	-108			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	55.74	420,619	47.63	425,105	49.39	427,501	46.82	429,317



成果実績	指標名	市民図書室資料購入数	目標	8,100	単位	点	8,100	単位	点	8,100	単位	点	5,300	単位	点
			実績	8,163	単位	点	8,115	単位	点	8,606	単位	点	5,335	単位	点
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。												
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			2,871.98			2,495.01			2,453.52			3,767.76			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えるとともに、様々な資料があるなかで、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づく資料の収集・保存の精査に徹するとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
45	市民図書室資料の収集、整理及び保存に関すること	無	無	3	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------



成果実績	指標名	16ミリ映画等映画会開催回数	目標	95	単位	111	単位	109	単位	84	単位
			実績	95	単位	111	単位	109	単位	84	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			映画会等を行うことにより、図書館サービスが充実し、市民の豊かな生活に貢献した。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			89,221.05		60,549.55		67,128.44		80,011.90		

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の資料・機材・設備の老朽化。</li> <li>限られた予算の中での利用者の要望に基づく資料購入。</li> </ul>
(2) (1)解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料・機材等の保守点検及び修繕を実施する。</li> <li>利用者のニーズに合った資料購入とともに将来の利用を見据えて体系的な資料収集を行う。</li> <li>既存資料の有効活用を行う。</li> </ul>

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	視聴覚資料鑑賞コーナーの適正な維持管理・運営や，16ミリ映画会等の開催により，図書館サービスが充実し，市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	社会情勢の変化に合わせた，視聴覚機材の維持管理及び整備とともに，的確な利用者のニーズの把握に努めながら，視聴覚機材の貸出や視聴覚資料の鑑賞を通じて，図書館サービスの充実を図る。 視聴覚資料の提供については，様々な媒体，形態での提供が可能であるかどうか研究し，利用者へ有効な資料の提供に努めるとともに，資料の購入について，令和3年度以降に総合市民図書館資料購入費に一部統合し，図書館資料全体として有効活用を図る方向で検討する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
6	視聴覚機器の維持管理及び修繕に関すること	無	無	1	
10	施設の使用許可及び貸出，管理に関すること	無	無	1	
24	図書館資料の収集に関すること(視聴覚)	無	無	3	
27	図書館資料の整理及び保存に関すること(録音資料)	無	無	1	
28	図書館資料の整理及び保存に関すること(映像資料)	無	無	1	
30	視聴覚機材の貸出及び管理に関すること	無	無	1	
31	視聴覚資料の収集，寄贈，整理及び保存に関すること	無	無	1	
32	視聴覚資料の貸出及び管理に関すること	無	無	1	
35	映画会の開催に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	障がい者・高齢者宅配サービス事業費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	004	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 13 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	図書館に来館することが困難な障がい者や高齢者に対し、市民ボランティアの協力により、各家庭へ図書館資料を宅配する。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	平成30年度実績：宅配サービス利用者数 108人、活動ボランティア数 84人、延べ利用者数 2006人、貸出資料数 7946点						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委託先 : (株)トッカータ ) ( 委託等内容 : 宅配サービス事業視聴覚資料マーク装備業務委託 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 558 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
		需用費	408 千円	消耗品・朗読CD・大活字本の購入											
		委託料	66 千円	朗読CD等マーク装備業務委託											
財源内訳	H30年度 支出済額 558 千円	事業費節別財源内訳			<b>3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)</b> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.50</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.50	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.50
			平成30年度												
		正規職員等	0.50												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.50												
		費目	支出済額 (千円)												
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他 ( )															
一般財源	558 千円														

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	7,113	5,438	5,350	5,323			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	5,411	5,454	5,476	5,377			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	637	631	642	558			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,774	4,823	4,834	4,819			
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	4,520	4,551	4,610	4,584			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	254	272	224	235			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	-16	-126	-54			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,702	-16	-126	-54			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	16.91	420,619	12.79	425,105	12.51	427,501	12.40	429,317

成果実績	指標名	宅配サービス利用者数	目標	85	単位	90	単位	95	単位	95	単位
			実績	88	単位	86	単位	96	単位	108	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		80,829.55		63,232.56		55,729.17		49,287.04			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	宅配ボランティア登録者の地域的な偏りが課題となっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	広報ふじさわ・HPでの周知を引き続き行う。また市内の団体・施設等に対してポスター掲示やチラシ配布を依頼するなど，積極的にPRを行い，市内全域で利用者・ボランティアの登録を促進する。今後も団体・施設等に協力を仰ぎ，宅配サービスの利用を促進する。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	図書館に来館することが困難な障がい者や高齢者の図書館利用が可能となり，市民サービスの更なる向上が図られている。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	図書館に来館することが困難な障がい者や高齢者に対し，自宅に居ながらにして図書館利用することができるよう，市民ボランティアの協力による図書館資料の宅配サービスを引き続き行っていく。令和元年度から，視聴覚資料の購入費を総合市民図書館資料購入費に，そのデータ作成業務委託料を，総合市民図書館運営管理費に統合し，図書館資料全体として有効活用を図る方向で検討する。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
22	宅配サービスに関すること	無	無	3	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------



# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	子ども読書活動推進事業費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	005	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 18 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	「藤沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが本に出会い、楽しみ、親しめる機会を提供し、豊かな環境の整備を進め、子ども読書活動の推進を図る。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	子どもの読書活動の推進に関する法律					
事業実施内容	1. 幼児と保護者を対象としたブックスタート事業を、1歳6カ月児検診時に合わせて実施した。(活動ボランティア延べ593人 配付人数3,397人) 2. 子どもや保護者が集う施設へブックリストの配布及び資料の提供を行った。(配本施設53施設) 3. 乳幼児とその保護者を対象とした推薦絵本等のリーフレットを作成し、保健事業時等に配付した。 4. 図書館・図書室おはなし会ボランティア、ブックスタートボランティアなど、子どもの読書活動推進に関わるボランティアのための交流会及び研修会を開催した。(交流会開催回数5回・研修会開催回数4回) 5. 子どもの読書活動推進のための市民向け啓発講座等を開催した。(開催回数6回)						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 4,888 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
		需用費	4,418 千円	ブックスタート配本用絵本購入費,リーフレット作成費											
		報償費	470 千円	ブックスタートボランティア・研修会等講師謝礼											
財源内訳	H30年度 支出済額 4,888 千円	事業費節別財源内訳			<b>3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)</b> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1.10</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	1.10	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	1.10
			平成30年度												
		正規職員等	1.10												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	1.10												
		費目	支出済額(千円)												
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他(繰入金)	1,600 千円														
一般財源	3,288 千円														

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	18,186	14,681	18,372	14,745			
	(1)現金を伴う支出(千円)	14,782	14,714	17,687	15,488			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	5,235	5,069	5,120	4,888			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,547	9,645	12,567	10,600			
	職員数(常勤 非常勤)	1.00 0.00	1.00 0.00	1.30 0.00	1.10 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	9,040	9,101	11,985	10,084			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	507	544	582	516			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	3,404	-33	685	-743			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	3,404	-33	685	-743			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	43.24	420,619	34.53	425,105	42.98	427,501	34.35	429,317



成果実績	指標名	ブックスタート事業実施回数	目標	48	単位	48	単位	48	単位	48	単位
			実績	48	単位	48	単位	48	単位	48	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		1. 絵本を介した幸せな子育ての実現 2. 生涯にわたる読書習慣の獲得(読書は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」-子どもの読書活動の推進に関する法律第2条) 3. 行政・市民・地域の子育て支援のメッセージを、全ての保護者に伝えることが可能								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			378,875.00	305,854.17	382,750.00	307,187.50					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種ボランティア交流会及び研修会等の充実</li> <li>市民向け講座の参加しやすい環境づくりについての検討</li> <li>「ふじさわ子ども読書プラン2020第3次藤沢市子ども読書活動推進計画」の推進と年度毎の適切な進捗管理</li> <li>「藤沢市子ども読書活動推進計画」改定に向けた準備</li> </ul>
(2) (1)解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種ボランティア交流会及び研修会の充実に努める。</li> <li>総合市民図書館で行っていた市民向け講座を他館で開催する。</li> <li>藤沢市子ども読書活動推進会議を開催し, 事業の進捗管理に努める。</li> <li>「子ども読書活動推進計画」の改定を検討するため, 策定委員会等を開催する。</li> </ul>

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市子ども読書活動推進計画に基づき, ブックスタート事業, 各種保健事業時等における啓発リーフレットの配付, 学校図書館及び地域の子どもの関わる施設との連携事業の実施, 対象年齢に応じたブックリストの配布, 地域の子どもの関わる施設への配本等, 子どもの読書活動の推進に関する事業を実施した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	藤沢市子ども読書活動推進計画に基づき, 子どもの豊かな心と健やかな成長を育むため, 子ども及び子どもの読書活動推進に関わる人を対象に子どもが本に出会い, 楽しみ, 親しめる機会を提供し, 地域の子どもの関わる施設への配本など, 読書環境の整備を推進する。また配本事業の対象施設について検討する。ブックスタート事業については, 他の自治体におけるふるさと納税などの活用事例について調査し検討する。「第4次藤沢市子ども読書活動推進計画」の策定を行う。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
41	子ども読書活動の推進に関すること(藤沢市ブックスタート)	無	無	1	
42	子ども読書活動の推進に関すること(藤沢市子ども読書活動推進計画)	無	無		2

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------